

船舶事故等調査報告書

平成24年8月30日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2011横第189号	
事故等種類	のり養殖施設損傷	
発生日時	平成23年10月30日（日） 18時02分ごろ	
発生場所	千葉県木更津市盤洲北方沖 木更津市所在の東京湾アクアライン海ほたる灯から真方位092°5,000m付近 (概位 北緯35°27.7' 東経139°55.8')	
事故等調査の経過	平成23年10月31日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	船種船名、総トン数 船種船名、総トン数 船種船名、総トン数	
船種船名、総トン数	モーターボート クレマチスⅡ、5トン未満（長さ7.77m）	
船舶番号、船舶所有者等	232-17360千葉、個人所有	
乗組員等に関する情報	船長、二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定	
死傷者等	なし	
損傷	本船 船底に擦過傷 定置網 根綱、枠綱及び仕切り綱切断	
事故等の経過	本船は、船長及び同乗者3人が乗船し、盤洲北方沖において、陸上の煙突の炎を目標にして東進中、船長は、GPSプロッターにより船位の確認を行っていなかった。本船は、のり養殖施設に接近して航行し、平成23年10月30日18時02分ごろ推進器にのり養殖施設の網が絡まって航行不能となった。 本船は、船長が海上保安庁に通報し、千葉県水難救済会の所属艇に救助され、自力で木更津市金田漁港に帰港した。	
気象・海象	気象：天気 雨、風向 北、風力 4、視程 約3海里 海象：波高 約1m、潮汐 満潮時 日没時刻：16時48分	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、盤洲北方沖を東進中、船長が船位の確認を行っていなかったことから、のり養殖施設に接近して航行し、のり養殖施設に進入して同施設を損傷したものと考えられる。
原因	本事故は、夜間、本船が、盤洲北方沖を東進中、船長が船位の確認を行っていなかったため、のり養殖施設に接近して航行し、のり養殖施設に進入したことにより発生したものと考えられる。	
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・夜間においては、目視による見張りに加え、レーダー又はGPSプロッターを活用して船位の確認を行うこと。	